

UTPケーブルの製作手順

準備する物

- * 作業工具(ワイヤーカッター・ニッパ・圧着工具等)
- * 配線材料(UTPケーブル・モジュラープラグ(RJ-45))
- * ケーブルテスター



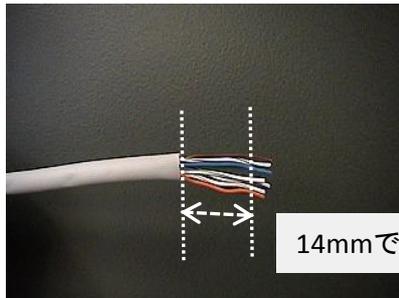
1



2



2-2



3-1



3-2

14mmで綺麗に切りそろえる



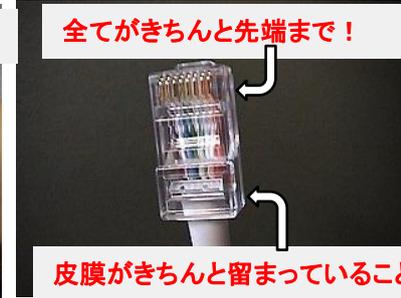
4

配線順を崩さず、全てきちんと先端まで届くまで差し込む!



5-1

力を入れて最後まで握る!



5-2

全てがきちんと先端まで!

皮膜がきちんと留まっていること!



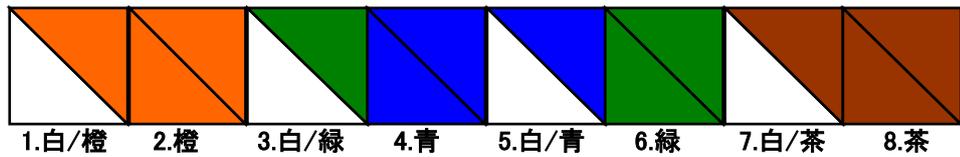
6

電源スイッチ

1. ケーブルを必要な長さに切断する。(今回は一人1m以内、最低20cm)
2. ケーブルの被覆を2cm弱程度剥く。(圧着工具を利用)
3. 撚りを戻し線番順に並べ、14mmで端を綺麗に切り揃える。
4. ケーブルをプラグに挿入。(正面から目視で**全て奥まで入っているか確認**)
5. 圧着工具で圧着。**目視チェック&抜けないかチェック**。
6. ケーブルテスターで**導通チェック**。(勿論両端を加工後)
右側中央がスイッチ、1-8緑、Straight赤点灯ならばOK。点滅、消灯はNG。

★ストレートケーブル＝両端が**568B**または**568A**(**568B**が一般的)
(クロスケーブル = 片端が568A、もう片端が568B)

EIA/TIA-568B



EIA/TIA-568A

